

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画

達成状況評価報告書

(令和3年度～令和5年度)

国分寺市福祉部高齢福祉課

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画 評価票

評価票は、「施策の方向」ごとに、「施策評価票」と「事業評価票」で構成されています。

1 施策評価票

(1)進捗状況評価（令和3年度・令和4年度）

各年度末までの進捗状況を評価します。次の3つから選択。

- ☐ おおむね目標どおり進行している。
- ☐ やや取組が遅れている。
- ☐ 大幅に取組が遅れている。

(2)達成状況評価（令和5年度）

第8期(3年)を経て目標を達成することができたかを評価します。次の4つから選択。

- ☐ 目標以上に達成した。
- ☐ おおむね達成した。
- ☐ 目標を下回った。
- ☐ 実施しなかった。

(3)進捗状況/達成状況評価に関する説明

(1)・(2)の評価についての説明を記載します。

(4)検討委員会意見

施策評価票・事業評価票の評価について、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会(以下「検討委員会」という。)の意見を記載します。

(5)次期計画に向けた方向性（令和4年度評価時に記載）

検討委員会の意見を記載します。次の3つから選択。

- ☐ 継続して実施する。
- ☐ 変更して実施する。
- ☐ 取組を終了する。

2 事業評価票

(1)進捗状況

「施策の方向」の重点事業について、各年度末までの評価を記載します。

次の3つから選択。

A: 目標を上回った。

- ① 各年度の目標値がある事業で100%以上達成しているもの。
- ② 各年度の目標値がある事業で100%以上を達成していないが、計画に記載されている「指標」以外の部分を考慮すると「目標以上に達成している。」と評価できるもの。
- ③ 各年度の目標値がない事業で「目標以上に達成している。」と評価できるもの。

B: おおむね達成した。

- ① 各年度の目標値がある事業で80%以上100%未満を達成しているもの。
- ② 各年度の目標値がある事業で80%以上を達成していないが、計画に記載されている「指標」以外の部分を考慮すると「おおむね達成した。」と評価できるもの。
- ③ 各年度の目標値がない事業で「おおむね達成した。」と評価できるもの。

C: 目標を下回った。

- ① 各年度の目標値がある事業で80%以上達成できなかったもの。
- ② 各年度の目標値がない事業で「目標を下回った。」と評価せざるを得ないもの。

(2)取組状況

「施策の方向」の取組事業について、各年度末までの取組状況を記載します。

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画達成状況評価総括表
【令和3年度～令和5年度】

達成状況	件数	該当する施策の方向
目標以上に達成した。	5	【1－2】在宅生活をできるだけ続けていくために／【2－8】個人の権利を尊重するために／【2－9】認知症施策の推進に向けて／【3－2】市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて／【5－1】誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために
おおむね達成した。	13	【1－1】要介護状態にならないために／【1－3】家族の介護負担を軽減するために／【2－1】安心して介護サービスを利用するために／【2－2】情報を必要な人につなげるために／【2－3】高齢者の悩みや不安等の解消に向けて／【2－4】安全確保に向けて／【2－5】社会からの孤立を防ぐために／【2－6】高齢者の多様な住まいの確保に向けて／【2－7】外出しやすいまちを目指して／【4－1】自己の充実にに向けて／【4－2】高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために／【4－3】様々な世代との交流に向けて／【5－2】介護職の魅力を伝えるために
目標を下回った。	1	【3－1】地域福祉を進めるために
実施しなかった。	0	

施策評価票

1-1

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①サービスB、②地域介護予防活動支援事業、③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討
施策の方向1	要介護状態にならないために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、☆健康推進課、☆保険年金課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	地域介護予防活動支援事業の一環として地域住民が実施している集いの場の登録数が3グループ増えたことは評価できる。他の事業も目標値をおおむね達成していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討について、事業実施に向け具体的な開始時期が決定したことは大きな前進といえる。他の事業についても着実に実施していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 評価票全体として、重点事業の進捗状況に関する補足には、具体的な数値を記載できるものは記載してもらいたい。また、取組事業については目標となる状態や事業規模が分からないため評価しにくい。	上記の評価とおおむね相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	サービスBについては第8期中に目標を達成できず、次期に向けて検討していく必要がある。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討については、第8期を通して検討が進み、令和6年度からの実施を決定したことは評価できる。他の事業についても、実施状況に応じて工夫しながら事業を実施した。以上のことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 サービスBについては、事業継続のため行政からも支援をしていただきたい。
次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。

事業評価票

1-1

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向1	要介護状態にならないために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	サービスB	(訪問型)NPO法人・公益社団法人等の住民主体による家事等の生活支援を提供します。 (通所型)NPO法人・公益社団法人等の住民主体による体操・運動等の活動や、サロン等を実施します。	(訪問型)登録団体数(団体)	2	2	2	C	新規でサービスB事業実施のために創立したグループはなかった。既存の団体がサービスB事業として継続実施している。訪問型の1団体は、後継者の育成が困難となり、解散したため、減となっている。団体数の推移と利用者がいない状況も踏まえ、方向性について課全体で検討していく必要がある。	高齢福祉課
				2	2	1			
			(通所型)登録団体数(団体)	4	4	4			
				3	3	3			
②	地域介護予防活動支援事業	地域住民主体で行う介護予防活動の支援などを行います。	介護予防推進員登録者(人)	38	55	55	B	高齢化による活動困難や生活環境・体調の変化等にて辞退となる方がおり、目標値を下回ったが、令和5年度は介護予防推進員の周知と介護予防推進員のフォローアップに力を入れて取り組み、令和6年度の新規介護予防推進員の養成への下準備をすることができた。	高齢福祉課
				34	50	46			
			集いの場登録グループ数(グループ)	29	31	33	A	グループ数自体は横ばいだが、参加人数は増えた。	高齢福祉課
				33	32	33			
③	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討	介護予防・重症化防止や疾病予防・重症化防止を目指し、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施する体制を関連各課と協議・検討します。	実施体制構築に向けた検討	関係課での検討	関係課での検討	実施に向けた検討	A	次年度事業実施に向けて3課で協議し、事業全体を推進する人員体制、事業内容、スケジュール、連携体制等を確定し、令和6年度基本方針を策定した。	保険年金課 高齢福祉課 健康推進課
				関係課での検討(1回)	関係課での検討(3回)	実施に向けた関係課での検討(4回)			

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向1	要介護状態にならないために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	サービスA	(訪問型)要支援1、2及び基本チェックリストによる事業対象者に、介護保険事業所による家事等の生活支援を提供します。 (通所型)介護保険事業所による体操・運動等の活動、食事やレクリエーション等を提供します。	サービスAとして自立支援をより意識して取り組んでいる。	高齢福祉課
⑤	サービスC	(訪問型)要支援1、2及び生活機能の低下が見られる方に、理学療法士、作業療法士等のリハビリ専門職、訪問介護員による在宅での短期集中プログラムを実施します。 (通所型)要支援1、2及び生活機能の低下が見られる方に、リハビリ専門職等による機能改善短期集中プログラムを実施します。	令和5年度から参加者を増やすべく2クール制を4クール制に増やし、昨年度より利用人数が増えた(3人→9人)。	高齢福祉課
⑥	介護予防 ケアマネジメント	サービス利用を希望する方に、介護予防・生活支援を目的に、心身の状況などに応じて本人が自立した生活を送ることができるよう地域包括支援センターが本人と共にケアプランを作成します。	利用者に対する自立支援への意識付けがまだ十分でないため、自立支援に資するケアマネジメントに向けた取組が継続して必要である。本人がセルフマネジメントできる体制構築を目標とし、多職種からのアセスメントが可能となる仕組みづくりを地域ケア会議でも協議しながら行う。	高齢福祉課
⑦	介護予防把握事業	要支援1、2のサービス未利用者等を「集いの場」等、住民主体の介護予防活動へつなげます。	地域活動の情報収集をしながら、未利用者の実態把握、地域活動への勧奨を実施した。	高齢福祉課
⑧	介護予防 普及啓発事業	介護予防に関するパンフレット配布や介護予防講演会、介護予防教室、転倒予防教室、出張講座等を開催し、介護予防活動の重要性を周知します。	地域包括支援センターにて、各包括エリアの地域課題等実情に応じた介護予防教室、転倒予防教室の内容を実施した。また、熱中症事業にて、チラシにフレイル予防の記事を掲載し啓発に努めた。出張講座も地域の住民グループ等の求めに応じて開催した。「いきいき高齢社会をめざす市民の集い」と合同開催で介護予防講演会を実施した。「地域へ広がる支え合いフレイル予防～地域支え合い健康づくりのススメ～」をテーマに講師の講演と、地域で介護予防活動を主体的に取り組んでいる住民ボランティアである介護予防推進員が講師との対談形式で活動報告を行い、地域における互助と健康づくりの重要性について周知した。(参加者129人)	高齢福祉課

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
⑨	地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取組を強化するため、地域で行う介護予防活動にリハビリ専門職などが参加します。	地域のリハビリテーション専門職に対して、定期的な会議を開催し、共通認識を確認するとともに、集いの場への参加協力も進め、取り組み方や成果について考えることができた。	高齢福祉課
⑩	一般介護予防事業評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、一般介護予防事業の評価を行います。	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況及び一般介護予防事業の内容について、介護予防部会で情報提供及び協議した。	高齢福祉課
⑪	後期高齢者医療健診・歯科健診	市内に住所を有する東京都後期高齢者医療広域連合の被保険者（75歳以上の方又は65歳以上74歳までの一定の障害認定を受けている方）を対象として、疾病等の早期発見・治療を図り、高齢期における健康の保持増進を目的として実施します。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行したことにより、医療機関の健診受入れが逼迫した。受診機会の確保、医療機関の混雑緩和のため、受診期限を一律2月末日までとした。医療健診受診者数は7,811人となった。歯科健診については、ポスター、市報等での周知や前年度75歳到達者を対象に受診券を発行し、積極的勧奨を行った。機能低下予防のためのパンフレットを作成し、高齢期の歯科保健の普及・啓発に取り組んだ。歯科健診受診者数は859人となった。	健康推進課 保険年金課
⑫	地域生きがい交流事業	生きがいを持って社会参加を続けられるように、生きがい創作、文化活動、介護予防、健康増進、交流、レクリエーションに関する事業を実施します。	市内6か所の生きがいセンターで、1年を3期に分けて23講座を実施し、延べ8,158人が参加した。第3期の最後には全センター合同の発表・展示・交流会を行った。	高齢福祉課

施策評価票

1-2

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①医療・介護多職種連携事業
施策の方向2	在宅生活をできるだけ続けていくために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	医療・介護多職種連携事業については、目標値を下回っているものの、研修を実施し連携が取れる体制は構築されていた。他の事業についても、希望すれば適切にサービスを利用することができているため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	医療・介護多職種連携事業については、目標値を達成し、研修に加え市民講演会を開催した。他の事業についても、適切に実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 医療・介護多職種連携事業については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも目標値を9割以上達成していることは高く評価できる。高齢者生活支援ショートステイ事業及び高齢者緊急ショートステイサービス事業については、ケアマネジャーに対する周知を行うことで事業の利用につながるのではないかと。	上記の評価とおおむね相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標以上に達成した。
達成状況評価に関する説明	医療・介護多職種連携事業については、令和4年度及び令和5年度は目標値を上回った。また、第8期を通じて地域包括支援センターが様々な工夫を行いながらケアマネジャーとの関係構築を図っていることは評価できる。他の事業についても、適切に実施していることから「目標以上に達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 介護保険制度外の市で独自に行っている事業については、周知方法及びアクセスのしやすさを検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

1-2

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向2	在宅生活をできるだけ続けていくために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	医療・介護多職種連携事業	住み慣れた地域で自分らしく最期まで住み続けられることを実現するためには、医療と介護の切れ目のない提供体制が望まれます。医療と介護の多職種が一体的なチームとなって高齢者及び介護者を支援できるよう、地域包括支援センターを軸とした相談対応やケアマネジメント、研修会等を通じて多職種連携を推進します。	地域包括支援センターが保健医療機関と「連絡・連携」した延べ件数(回)	1,695	1,725	1,755	A	地域包括支援センターが保健医療機関と連絡・連携した延べ件数は目標値を上回っている。在宅医療と介護を一体的に提供し、切れ目のない提供体制の構築を推進するため、多職種連携を目的とした研修を実施した。	高齢福祉課
				1,562	2,177	1,943			

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向2	在宅生活をできるだけ続けていくために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	地域ケア会議「医療・介護連携部会」を活用した推進	地域ケア会議「医療・介護連携部会」を活用し、在宅医療・介護連携に係る課題の抽出・解決策等の協議・検討を行います。	医療・介護連携部会を2回開催した。関係者の支援状況や課題について共有したほか、市民向け講演会に関する意見交換を行った。また、ACP研修は34人が参加した。	高齢福祉課
③	高齢者生活支援ヘルパー事業	骨折等により短期間で回復が見込まれる方や、要支援・要介護認定更新時に非該当と認定された方に、期間を決めて生活援助及び身体介護を行います。	利用者は、骨折7人、退院後の静養1人の計8人であった。	高齢福祉課
④	高齢者寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	居住環境により寝具の自然乾燥を行うことが困難な方に対し、寝具類の乾燥等を行います。	新規利用はないが、継続利用の方に対してサービスを行った。	高齢福祉課
⑤	高齢者等訪問福祉理容・美容サービス事業	要介護3以上で、理容サービスが受けられない方に訪問理容・美容サービスを実施します。	申請者数は312人、年間延べ利用回数は606回であり、前年度と同水準であった。	高齢福祉課
⑥	高齢者生活支援ショートステイ事業	要支援・要介護認定を受けていない方で介護者不在等により緊急性が高い場合に、短期入所（ショートステイ）の利用を支援します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
⑦	移動・送迎サービス事業	高齢者・障害者等移動困難者の通院時等の移動手段を確保するため、NPO法人等に対し、道路運送法に基づく福祉有償運送団体登録事務等の支援を行います。	登録している1団体について、継続して支援を行った。	地域共生推進課
⑧	高齢者等紙おむつ等支給事業	在宅の要介護3以上で、常時おむつを使用する方へ、紙おむつ及び尿取りパッドを支給します。	前年度と比較して、延べ受給者数が増加したため、紙おむつ等の支給数も増加した。	高齢福祉課
⑨	高齢者緊急ショートステイサービス事業	要支援・要介護認定を受けている方で、同居家族の疾病・事故などにより一時的に保護が必要な方に対し、国分寺市指定の事業所へ短期入所（ショートステイ）の利用を支援します。	1件（1人、1日）の利用があった。	高齢福祉課
⑩	高齢者送迎サービス事業	国分寺市の区域を送迎対象としない隣接市の介護保険通所リハビリテーションサービス及び入退所の際に送迎サービスを行います。市町村特別給付として実施します。	主に、市の区域を送迎対象としない隣接市の通所リハビリテーションサービス等への送迎に利用された。	高齢福祉課

施策評価票

1-3

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①家族介護者交流会
施策の方向3	家族の介護負担を軽減するために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	家族介護者交流会は、目標値は下回ったものの、感染対策を行いながら実施したことは評価できる。家族介護慰労金支給事業は実績がないものの実施できる体制は整っていたこと、その他の事業も感染対策を行いながら実施したことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	家族介護者交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも実施できている。その他の事業も適切に実施したことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	新型コロナウイルス感染症の影響で家族介護者の負担が非常に高くなっている。このことを踏まえると、評価については「やや取組が遅れている。」が適当ではないか。令和5年度は重点的に取り組んでいく必要があるのではないかな。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	家族介護者交流会については、第8期を通して目標値を下回ったが、コロナ禍でも開催方法を工夫して継続して実施し、延べ参加者数は徐々に増加している。また、取組事業についてはも着実に実施している。以上のことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 ヤングケアラーなども含めた重層的支援について、次期計画において一つの視点として検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

1-3

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向3	家族の介護負担を軽減するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	家族介護者交流会	高齢者や介護に関わる家族を対象に、介護に関する勉強会や介護者間の交流を地域包括支援センターが行います。	延べ参加者数 (人)	200	210	220	C	地域包括支援センターが地域課題を意識しながら、高齢者や介護に関わる家族を対象に、介護に関する勉強会や介護者間の交流を実施できている。目標値は下回っているが、前年度よりは参加者が増えている。	高齢福祉課
				92	107	132			

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向3	家族の介護負担を軽減するために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	はいかい高齢者等 家族支援サービス 事業	はいかいのある認知症高齢者等を介護している家族に対し、位置探索機の貸与等を行い、早期に発見できる体制を整え、安心して介護できる環境を整備します。	探索機は、携帯可能なものと、専用靴に装着可能なものの2種類を提供している。また、対象者のはいかいに起因する事故に備えた保険を付帯している。令和5年度末時点の利用者は22人だった。	高齢福祉課
③	家族介護慰労金 支給事業	介護保険サービス利用のない要介護4、5の方の介護を行っている家族へ介護慰労金を支給します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
④	認知症の人を支える家 族の会の開催支援	家族の負担軽減や交流のための家族会が行う懇談会の開催支援のほか、講演会などを共催します。	毎月開催の懇談会の開催支援と、認知症普及啓発月間における活動紹介の展示の支援を行った。	高齢福祉課
⑤	認知症カフェ	認知症の方やその家族、地域の方が気楽に集まり、認知症や介護に関することなどの相談・情報交換ができる場を提供します。	市内2か所の認知症カフェ（委託型）において、年間計44回開催した。	高齢福祉課

施策評価票

2-1

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①要介護認定の適正化、②ケアプラン点検、③縦覧点検・医療情報との突合
施策の方向1	安心して介護サービスを利用できるように	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	要介護認定の適正化については、認定調査員及び介護認定審査会委員に周知を図ったことで認定の平準化に寄与すると考えられる。他の事業についても適切に実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	ケアプラン点検については、給付実績等の情報を活用しながらケアマネジャーと保険者がともに行ったことで、ケアマネジメントの質の向上につながることが期待される。その他の事業についても、滞りなく事業を進めたことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 ケアプラン点検では、ケアプラン点検の他にも、ケアマネジメントの質向上に際し、居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して、年6回程度、研修が行われていることが確認された。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	重点事業である3事業については、第8期を通じて適切に実施した。このことは、介護保険制度の安定した運営につながると考えられる。他の事業についても、着実に実施していることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画においては、数値化できる指標については数値化することで施策の効果を分かりやすく示していただきたい。コロナ禍を経て変化する制度もあるため、市民への影響を考慮しつつ、適切なケアマネジメントに向けて保険者機能の強化に取り組んでいただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-1

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向1	安心して介護サービスを利用するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	要介護認定の適正化	全国一律の基準に基づいて要介護認定の適正化を図ります。 【今後の方向性記載の内容】 ・審査判定の傾向・要因について分析し、判定のばらつきの解消・適正化を行う。 ・調査票の特記事項の記載方法の統一を行う。 ・審査判定のばらつきの改善状況を確認し、新たな課題の分析を行う。 ・傾向の把握、改善状況の確認を行い、新たな課題についての分析を行う。 ・介護認定審査会委員全体会による情報共有を行い、審査判定を平準化する。 ・テキスト、eラーニング等を活用し、介護認定審査会委員の勉強会や調査票確認時の指導を行う。	今後の方向性記載の内容を実施	継続	継続	継続	A	審査判定の傾向・要因について分析や確認を行った。調査票の特記事項の記載方法の統一、認定審査会前の調査票確認時に指導を行い、認定調査員との情報共有を図った。また、コロナ禍により令和2年度から中止していた介護認定審査会委員全体会を開催し、情報共有及び模擬審査会を通して審査判定の平準化を図った。	高齢福祉課
②	ケアプラン点検	ケアマネジャーと保険者が共にケアプランの確認を行うことにより、自立支援に資するケアマネジメントの質の向上を目指します。	ケアプラン点検支援事業実施事業所数(件)	2 2	2 2	2 2	A	東京都国民健康保険団体連合会から提供される給付実績等の情報を活用し、ケアマネジャーと保険者が共にケアプランの確認を行い、自立支援に資するケアマネジメントに向けた意識の共有化を図った。	高齢福祉課
③	縦覧点検・医療情報との突合	報酬請求が誤っている可能性の高い事業所に対して確認等を行い、適正な報酬請求を促します。 【今後の方向性記載の内容】 ・縦覧点検・医療情報との突合について、未実施の項目の点検を実施する。 ・効率性を高め、点検実施件数を増やす。研修会や出張説明を活用し、点検ノウハウを高める。 ・システムマニュアルを活用し、点検を効率化し、定期的に実施する。	今後の方向性記載の内容を実施	継続 継続	継続 継続	継続 継続	B	東京都国民健康保険団体連合会の介護給付適正化関連システム研修会の受講等により点検ノウハウを高め、点検効率を高めながら定期的に実施した。	高齢福祉課

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向1	安心して介護サービスを利用できるように（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	事業者指導・育成	介護保険サービスの質を確保するため、集団指導、実地指導により、市内介護保険事業所の指導・育成を図ります。	実地指導は、令和4年度に比較し対象事業所数を増加させた。集団指導は、市が指定権限を有する全てのサービスを対象に実施した。今後も法令等の改正に柔軟に対応しつつ適切かつ効果的に指導を実施していく。	地域共生推進課
⑤	第三者評価の受審の促進	サービス提供事業者が第三者の評価を受けてサービスの質の向上に努めることにより、利用者は安心してサービスを受けることができます。また、客観的な評価情報が公開されることで、利用者が容易にサービスを選択できるよう、第三者評価の受審を働きかけます。	第三者評価の受審により、利用者のニーズ把握や事業者周知に役立つ評価結果の取得など、事業者のメリットも打ちだしながら、受審促進を図った。	地域共生推進課 高齢福祉課
⑥	介護サービス相談員派遣等事業	施設介護サービス等の場を訪問し、利用者の日常的な不安や疑問等の相談に応じ、介護保険サービスの円滑な提供と質的向上を図ります。	介護サービス相談員による介護施設への訪問は、受入施設と調整の上、令和5年5月から再開した。令和6年3月末時点での介護サービス相談員数は18人、令和5年度の介護施設への訪問回数は122回となった。	高齢福祉課
⑦	苦情受付窓口の設置	利用者等がサービスに対する意見を言い、サービス利用者の意見を反映できる仕組みを活用することにより、権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図ります。	利用者等のサービスに対する意見を聞き、東京都国民健康保険団体連合会に報告を行うことで、利用者の権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図った。	高齢福祉課
⑧	住宅改修・福祉用具点検	受給者の実態にそぐわない不適切又は不要な住宅改修等が行われていないかを点検し、適切な住宅改修等の給付がなされているか確認します。	支給申請書等の確認及び点検を通じて、適切な住宅改修等の給付を図った。	高齢福祉課
⑨	介護給付費通知	居宅サービス等の受給者がサービス内容及び費用の確認を自ら行うことにより、適切なサービス利用の普及啓発を行います。	介護給付費通知を行い、受給者がサービス内容及び費用の確認を自ら行うことにより、適切なサービス利用の普及啓発を図った。	高齢福祉課

施策評価票

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①地域資源管理システムによる情報提供
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	情報提供については地域包括支援センターと連携して実施している。また、パンフレットの作成やシステムの活用、相談活動や講座の開催等、様々な方法で行っていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	地域資源管理システムによる情報提供については、令和3年度に引き続き、地域包括支援センターと連携して実施している。また、様々な方法での情報提供も行っていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	地域資源管理システムによる情報提供については、第8期を通して地域包括支援センターと連携して実施した。様々な方法での情報提供も継続して行っていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	地域資源管理システムによる情報提供	地域で介護予防に取り組む団体や、高齢者の生活支援に関するサービス等の地域資源をシステム上で管理・マップ化し、必要な方に適切な情報が行き届くよう効果的な提供方法を検討していきます。	地域資源管理システムの活用	構築	構築	介護保険事業者へ公表	B	地域包括支援センターに配置されている第2層生活支援コーディネーターに地域資源の把握を依頼し取りまとめてシステムに掲載した。介護保険事業所へ向けた公表については、一般公開に合わせる形で提供方法を検討した。	高齢福祉課
				構築	構築	検討			

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	多様な情報を提供する仕組みづくり	適切なサービス利用につながるよう、様々な媒体を使って誰もが必要な情報を入手できる仕組みを検討します。	介護保険制度を周知するためのパンフレット、介護保険事業者ガイドブックを作成し、適切なサービスを利用できるよう情報提供を行った。また、市民に対しては地域包括支援センターを中心とした訪問や相談、講座等により周知を図った。	高齢福祉課

施策評価票

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①総合相談支援事業
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	高齢者やその家族からの相談内容は多問題・多世代の複合的なケースが増えてきており、高齢分野を超えた対応力や相談対応のスキルアップが必要である。相談体制自体は整っており関係団体等との連携も取れていることを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	総合相談支援事業については、相談件数は増加しているものの対応することができている。また、民生委員の定例会に出席するなどの取組を通じて、関係団体等との連携も取れていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 総合相談支援事業については、相談件数だけではなく、支援体制である人員を指標として挙げるなど、指標として工夫してほしい。 関係団体・民生委員等との連携強化については、当該年度に行った具体的な取組や数値を記載してほしい。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	総合相談支援事業については、第8期を通して、寄せられる相談に対応することができた。また、関係団体等との連携強化や介護サービス相談員派遣等事業についても、適切に実施した。以上のことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 総合相談支援事業については、指標を相談件数ではないものに変更していただきたい。また、市民が相談しやすい窓口の設置や相談窓口があることについての広報を検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	総合相談支援事業	地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族等支援を必要とする方からの様々な相談に対して、情報提供や各種サービスの調整等を行います。	相談件数(件)	継続	継続	継続	B	地域包括支援センターに入る相談は、年々複雑・複合化しており、対応に苦慮するケースが増えている。前年度に比べて相談件数はやや減少したが、市の基幹的機能も発揮して、対応することができた。(令和5年度の相談件数は27,584件)	高齢福祉課
				継続	継続	継続			

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて(取組事業)

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	関係団体・民生委員等との連携強化	高齢者やその家族等支援を必要とする方からの様々な相談に対して、庁内の関係部署や関係機関との円滑な連携により、市民サービスの向上に努めます。また、地域で活動する民生委員やボランティアとの連携を強化します。	民生委員の定例会に伺い、連携の依頼をした。また、民生委員と地域包括支援センターの連絡会の開催のほか、小地域ケア会議等を通じて、地域包括支援センター単位で、地域関係者のネットワーク構築に取り組んだ。	高齢福祉課
③	介護サービス相談員派遣等事業【再掲】	施設介護サービス等の場を訪問し、利用者の日常的な不安や疑問等の相談に応じ、介護保険サービスの円滑な提供と質的向上を図ります。	介護サービス相談員による介護施設への訪問は、受入施設と調整の上、令和5年5月から再開した。令和6年3月末時点での介護サービス相談員数は18人、令和5年度の介護施設への訪問回数は122回となった。	高齢福祉課

施策評価票

2-4

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向4	安全確保に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課、防災安全課、地域共生推進課、交通対策課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	防災まちづくり推進地区を目指す意向が示された2自治会に対する支援は、今後、住民組織による高齢者世帯等の安全確保につながると考えられる。その他の事業についても、滞りなく事業を進めたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	高齢者救急通報システム等事業については、以前からニーズのあった電話回線不要型を導入したことで、より多くの市民にとって利用しやすくなった。その他の事業についても着実に実施していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	高齢者の安否確認方法の検討については、第8期中に検討を行い、令和5年度の途中から「高齢者見守りサービス助成事業」を開始したことは評価できる。他の事業についても、継続して実施できていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-4

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向4	安全確保に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	高齢者救急通報システム等事業	ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯等へ東京消防庁等に自動通報する機器を設置します。	17件(新規利用1件、死亡や入所による辞退2件)の利用があった。新規利用は令和4年度より導入した電話回線不要型での申込みだった。	高齢福祉課
②	住民組織(自主防災組織等)による高齢者世帯等の安全確保の仕組みづくり	防災まちづくり推進事業の一環で地域における防災力の向上を目指すことを目的として、国分寺市と地域との間で「防災まちづくり推進地区」としての協定を結び、防災活動に積極的な地域においては高齢者世帯等の安全確保及び見守りを行い地域活動の支援をします。	南町一丁目自治会と市が令和5年12月に「防災まちづくり推進地区」として協定を締結した。令和6年度から3年間防災まちづくりに係るコンサルタントを派遣し、地区の特性に合った地区防災計画の策定支援を行う。	防災安全課
③	避難行動要支援者登録制度	大地震などの災害発生時に、自力で避難することが困難な方の避難支援等を迅速・的確に行うことを目的に名簿を作成します。	名簿登録者に現況確認書を送ることで、登録者に改めて制度の内容を御理解いただくとともに、名簿を最新の状態で更新した。また、安否確認訓練の実施とあわせて、制度について市報で周知し登録促進につなげた。	地域共生推進課
④	行方不明者通報時の情報発信	行方不明者の早期発見のために、生活安全・安心メールを活用し情報発信を行います。	市民からの依頼に基づき配信しており、令和5年度は3件の依頼があった。早期発見のために有効なツールの一つとなっている。生活安全・安心メールの登録者は令和5年度末時点で22,041人となっている。	高齢福祉課 防災安全課
⑤	高齢者に対する交通安全教育・啓発	加齢に伴う身体機能の低下や事故発生実態等を踏まえ、様々な高齢者が集まる機会において交通安全教育を実施します。	全国交通安全運動に伴い、交通安全イベント「市民のつどい」を実施し、「敬老会」においては、啓発グッズやチラシを配布して交通安全の啓発を実施した。	交通対策課
⑥	高齢者の安否確認方法の検討	民間の見守りサービスの活用等、多様な高齢者の安否確認の方法を検討します。	65歳以上の高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯に対し、見守りサービス機器を導入した際の費用の一部を助成する「高齢者見守りサービス助成事業」を開始した。年度途中の開始ということもあり、令和5年度実績は0件であった。	高齢福祉課

施策評価票

2-5

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向5	社会からの孤立を防ぐために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課、地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	第1層協議体を第1層生活支援コーディネーターが中心となって実施したこと、その他の事業についても感染拡大防止に配慮しながら実施したことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	ひとり暮らし高齢者等地域交流会の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて開催形態を変更しながら交流会を実施した。その他の事業についても、継続して実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	第8期期間中は新型コロナウイルス感染症の感染拡大期間と重なったが、ひとり暮らし高齢者等地域交流会の実施や敬老事業については、感染対策を講じながら継続して実施した。このことは、感染拡大の影響で外出機会の減少した高齢者の生活を豊かにし、社会からの孤立を防ぐことにつながると考えられる。併せて、生活支援・介護予防サービス体制整備の推進も着実に実施できていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 新たな社会課題や多様化する利用者、介護者のニーズへの支援策を次期計画において検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

2-5

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向5	社会からの孤立を防ぐために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	生活支援・介護予防サービス体制整備の推進	国分寺市、第1層生活支援コーディネーター及び地域の関係団体とサービス整備推進会議を開催し、生活支援・介護予防サービス体制整備の推進に向け協議を行います。また、各地域包括支援センターに配置した第2層生活支援コーディネーターが地域において活動できるように、協議体開催の支援等を行います。	国分寺市生活支援・介護予防サービス整備推進会議では、第1層生活支援コーディネーターを中心に、グループワークを多く取り入れ、第2層生活支援コーディネーターと会議の委員の顔の見える関係づくりの推進に努めた。 第2層生活支援コーディネーターにおける協議体開催や地域づくりについては、各地域の課題を解決するために、各コーディネーターが取組んでいることや、困っていることを生活支援・介護予防サービス整備推進会議にて共有・連携して実施し、支援を継続した。	高齢福祉課
②	ひとり暮らし高齢者等地域交流会の実施	社会福祉協議会では、ひとり暮らし高齢者のひきこもりを防ぎ、孤立することがないように、地域において交流会を実施しています。また、歌・軽体操、異世代間の交流や警察署・消防署からの情報提供などもあわせて行っています。	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、調理・飲食等も含めて、実施をする会が増えた。ただ、参加者が罹患すると重症化しやすい高齢者のため、ボランティア・参加者ともにマスク着用を推奨している。参加者が増えている会も多く、外出及び交流の大切な機会となっていると考えられる。	地域共生推進課
③	敬老事業	敬老の日がある9月に、75歳以上の方の長寿を祝う敬老会、100歳の方及び最高齢の方への市長の表敬訪問、100歳以上の方への敬老記念品の贈呈を行います。	100歳で訪問を希望する方への市長の表敬訪問を実施し、訪問件数は令和4年度4件から令和5年度5件に増加した。100歳以上の方への記念品贈呈は郵送により行った。敬老会は事前申込制とし、感染対策を行った上で実施した。	高齢福祉課

施策評価票

2-6

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向6	高齢者の多様な住まいの確保に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	高齢者民間賃貸住宅のあっせんについては、利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。その他の事業は適切に実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	全ての事業について、利用できる体制は整っていたため、「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	高齢者民間賃貸住宅のあっせんや高齢者居住の公的保証は、第8期中に利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。他の事業についても、継続して実施できていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-6

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向6	高齢者の多様な住まいの確保に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	福祉型高齢者住宅事業 (シルバーピア)	都営住宅内に設置された高齢者住宅(シルバーピア)に生活援助員を派遣し、居住者の相談に応じ、緊急時の対応を行います。	生活援助員を派遣し、居住者の相談に応じる等、緊急時の対応を行っているものの、入居者の高齢化が進んでおり、対応に苦慮するケースが増えている。 居住者の状況に、応じて地域包括支援センターとの連携をとるなど、柔軟に対応した。	高齢福祉課
②	高齢者民間賃貸住宅のあっせん	取壊しなどの理由により転居の必要がある方に対し、東京都宅地建物取引業協会にあっせんを依頼します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
③	高齢者住宅確保事業	住まいに困っている低所得者のひとり暮らし高齢者に対して、国分寺市が借り上げた住居を提供し、生活の安定を図ります。	緊急に住居がない高齢者のセーフティネットの役割を果たしている。利用者は令和4年度6人から令和5年度8人に増加した。	高齢福祉課
④	高齢者居住の公的保証	取壊しなどの理由により転居の必要があり保証人がいない方のために、国分寺市が保証人となり住宅を確保します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整えていた。民間企業の保証人サービス等もあるため研究が必要である。	高齢福祉課
⑤	高齢者自立支援住宅改修給付事業	高齢者の住環境を改善することにより、転倒の防止、安全な住環境の整備を図ります。	令和5年度は9件の申請があり、改修の費用を給付した。今後も住宅の改修が必要な高齢者に対し、事業を継続していく。	高齢福祉課

施策評価票

2-7

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向7	外出しやすいまちを目指して	担当課 (重点事業担当課には☆印)	道路管理課、交通対策課、高齢福祉課、まちづくり計画課、建設事業課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	全ての事業について適切に事業を進めたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	全ての事業について適切に事業を進めたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 今期の事業には含まれていないが、「外出のしやすいまち」とは、単に交通環境の整備やバリアフリー化等のハード面だけでなく、地域の生活環境の違いによる外出のしにくさ(坂、スーパーが少ないなど)が勘案される必要がある。地域の状況による現状がわかるような評価が望ましい。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	いずれの事業についても、第8期を通して適切に実施できていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-7

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向7	外出しやすいまちを目指して（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	道路交通秩序の維持	高齢者や障害者等の歩行者の安全を確保するため歩道の整備、放置自転車、違反広告物看板の撤去等利用しやすい道路交通秩序の維持に努めます。	道路を不法に占有する違反広告物看板等を発見した際は、設置者に対し早急な撤去を指導した。また、放置自転車対策として、年間を通して駅周辺の自転車等放置禁止区域を中心に放置自転車への警告や撤去を実施した。	道路管理課 交通対策課
②	高齢者運転免許 自主返納支援事業	高齢者の自動車運転事故の未然防止、社会参加の支援のため、65歳以上で運転免許の自主返納をした方に対し、ぶんバスの無料乗車許可証（ぶんPass）を支給します。	ぶんPassの新規支給件数は242件で、週に4～5件程度の申請があった。平成29年度の事業開始時に市報へ掲載して以来、2回目の市報への掲載により広報活動を展開した。高齢者の自動車運転事故の未然防止、社会参加の支援に貢献している。	高齢福祉課
③	バリアフリーの推進	バリアフリーに関する基本構想を策定し、バリアフリーの推進に努めます。また、利用者及び市民の安全確保のため、鉄道会社と連携して、駅のホームドアの設置に向け取り組みます。	バリアフリー基本構想推進協議会を開催し、特定事業計画の進捗状況の確認・情報共有を行った。駅のホームドア設置については、現状未設置の駅について鉄道事業者に引き続き働きかけを行っていく。	まちづくり計画課
④	道路交通環境の整備	歩行者等を自動車交通から分離し、道路交通の安全と円滑化を図るため、都市計画道路・交差点改良等の整備に合わせ歩道の整備を推進します。	国3・4・12号線及び国3・4・1号線について、歩道整備の検討を進めた。	建設事業課

施策評価票

2-8

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築
施策の方向8	個人の権利を尊重するために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、地域共生推進課、経済課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築について、必要な機関との連携や支援を継続しており、参加機関数も目標値を上回っている。その他の事業でも市民への情報提供の機会を設けたり、支援を行ったりしていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築について、令和3年度に引き続き、必要な機関との連携や支援を継続しており、参加機関数も目標値を上回っている。その他の事業についても、市民を対象に情報提供を行ったり、事業所を対象に勉強会を開催したりしていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標以上に達成した。
達成状況評価に関する説明	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築については、第8期を通して目標値を上回った。他の事業についても、適切に実施していることから「目標以上に達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 消費者被害の防止については、消費者見守りネットワーク協議会のような地域でのネットワークを強化したり、その構築を広げたりすることが必要ではないか。また、消費者被害の防止に関する取組に、生活安全・安心メールを用いて注意喚起を行っていることを記載してもよいのではないかな。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

2-8

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向8	個人の権利を尊重するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築	高齢者本人と養護者に対して適切な支援や継続的な見守りを行い、虐待の未然防止・早期発見のため、地域における様々な関係者のネットワーク強化を図ります。	国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク参加機関数	67	69	71	A	虐待ケースの対応のため、必要な機関との連携、支援を継続している。	高齢福祉課
				70	74	76			

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向8	個人の権利を尊重するために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	消費者被害の防止	高齢者を狙う悪質商法や、消費者被害等を未然に防止するために地域住民への情報提供、被害からの救済に必要な支援を行います。	消費者見守りネットワーク協議会を年3回開催し、消費者トラブルの対策や構成機関の取組状況を協議している。また、協議会の機関紙「消費者見守りネットワークだより」を発行し、情報提供を通じて被害防止の啓発に努めている。市民向けの講座については、新型コロナウイルス感染症の流行前と同様に市内を東西に分けて開催した。関係機関からの情報提供や参加者自身の経験を話してもらい、注意喚起を行った。	経済課 高齢福祉課
③	高齢者成年後見制度 利用支援事業	判断能力の低下により、自ら財産管理を行ったり、日常生活を営むことが困難な方やその親族への制度利用支援を行います。	判断力が低下して財産管理ができなくなった高齢者は年々増加傾向にある。かつ身寄りのないケースも増えており、市長申立ての相談が増えている。令和5年度の申立てはないが、申立てに向けた手続を行い、令和6年度に申立てを行った。	地域共生推進課 高齢福祉課
④	苦情受付窓口の設置 【再掲】	利用者等がサービスに対する意見を言い、サービス利用者の意見を反映できる仕組みを活用することにより、権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図ります。	利用者等のサービスに対する意見を聞き、東京都国民健康保険団体連合会に報告を行うことで、利用者の権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図った。	高齢福祉課
⑤	第三者評価の受審の 促進 【再掲】	サービス提供事業者が第三者の評価を受けてサービスの質の向上に努めることにより、利用者は安心してサービスを受けることができます。また、客観的な評価情報が公開されることで、利用者が容易にサービスを選択できるよう、第三者評価の受審を働きかけます。	第三者評価の受審により、利用者のニーズ把握や事業者周知に役立つ評価結果の取得など、事業者のメリットも打ちだしながら、受審促進を図った。	地域共生推進課 高齢福祉課
⑥	高齢者虐待に対する正しい知識・理解の普及	地域住民や介護サービス事業者等の関係者が高齢者虐待に対する理解を深めることで、虐待の未然防止・早期発見に努められるよう、必要な支援を行います。	権利擁護支援団体職員を講師に招き、「高齢者虐待の早期発見・通報の重要性」をテーマに虐待対応研修を1回実施した。また、虐待対応マニュアルについて、居宅介護支援事業所のほか、在宅の介護保険事業所に対象者を拡大して勉強会を開催した。	高齢福祉課

施策評価票

2-9

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①チームオレンジの構築
施策の方向9	認知症施策の推進に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	チームオレンジの構築に向け、認知症地域支援推進員連絡会で検討を実施している。また、認知症についての知識の普及啓発や認知症の方とその家族を支える事業について感染対策を取りながら実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	チームオレンジの構築に向け、認知症地域支援推進員連絡会で引き続き検討を重ねている。また、認知症キャラバン・メイト養成講座を実施し、市民が認知症に対する理解をさらに深めていること、その他の事業についても適切に実施していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標以上に達成した。
達成状況評価に関する説明	チームオレンジの構築については、認知症地域支援推進員連絡会で継続して協議を行い、第8期を通して目標値を上回った。他の認知症に関する事業についても実施できていることから「目標以上に達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 チームオレンジの構築については適切な評価指標としていただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

2-9

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向9	認知症施策の推進に向けて（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	チームオレンジの構築	認知症の方やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジを構築します。	認知症地域支援推進員連絡会開催回数（回）	3	3	3	A	認知症地域支援推進員連絡会において、チームオレンジ構築の協議及び各地域包括支援センターにおける認知症サポーターステップアップ講座開催についての情報共有を行った。	高齢福祉課
				6	4	4			

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向9	認知症施策の推進に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	認知症普及啓発講演会の開催	認知症になっても安心して暮らせる国分寺を目指して、市民に認知症について正しい知識を普及啓発するための講演会を実施します。	認知症普及啓発月間(11月)に毎年1回実施。会場とオンラインのハイブリッド開催で実施した。	高齢福祉課
③	認知症初期集中支援推進事業	医療と介護の専門職がチームとなり、認知症の疑いのある方等の自宅に訪問し、本人や家族の相談に応じ、必要な支援を行います。	家族の相談を受けて、初期集中支援チームにより1件訪問した。	高齢福祉課
④	認知症キャラバン・メイト養成	認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成講座について、東京都主催の講座に受講者を推薦するほか、国分寺市主催の講座を開催します。	東京都主催の講座には受講者1人を推薦した。国分寺市主催の養成講座は令和7年度実施予定としている。	高齢福祉課
⑤	認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーターステップアップ講座を実施し、地域で活躍する人材育成を図ります。	各地域包括支援センターが認知症サポーターステップアップ講座を開催した。地域の認知症サポーターの活動の紹介やチームオレンジの周知を実施した。	高齢福祉課
⑥	認知症サポーターフォローアップ講座	認知症の理解をさらに深める認知症サポーターフォローアップ講座を実施し、普及啓発を図ります。	認知症普及啓発月間(11月)に実施。認知症サポーターを対象に、認知症の人への声のかけ方というテーマで講義とグループワークを実施した。	高齢福祉課
⑦	認知症の人を支える家族の会の開催支援【再掲】	家族の負担軽減や交流のための家族会が行う懇談会の開催支援のほか、講演会などを共催します。	毎月開催の懇談会の開催支援と、認知症普及啓発月間における活動紹介の展示の支援を行った。	高齢福祉課
⑧	認知症カフェ【再掲】	認知症の方やその家族、地域の方が気楽に集まり、認知症や介護に関することなどの相談・情報交換ができる場を提供します。	市内2か所の認知症カフェにおいて、年間計44回開催した。	高齢福祉課
⑨	認知症サポーターの養成	認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である、認知症サポーターを養成する講座を実施します。	国分寺地域包括支援センター主催の講座と、企業・団体からの依頼を受けた講座を合わせて19回実施し、593人が受講した。	高齢福祉課

施策評価票

3-1

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める	重点事業	①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進、②地域ケア会議の効果的な運営
施策の方向1	地域福祉を進めるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	目標値は下回っているものの、第1層生活支援コーディネーター及び第2層生活支援コーディネーターと連携して生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を行うことができている。その他の事業についても適切に実施されていることを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	重点事業はいずれも目標値を下回っている指標はあるが、より良い活動ができるように体制の変更を行ったり、地域ケア会議に様々な職種のメンバーが参加し連携体制の基盤づくりが進んでいる。取組事業についても委員同士の交流が図られたことから、「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 「①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進」事業については、コロナ禍で思うように活動ができなかったことや、協議体という形にとらわれず地域福祉に関する様々なミーティングが行われていることを踏まえると、「C」よりも高く評価することができる。	上記の評価とおおむね相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標を下回った。
達成状況評価に関する説明	重点事業である2事業については様々な取組を行ったが、第8期を通して目標値を下回った。取組事業については継続して実施した。このことから「目標を下回った。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 基本目標3に「少子高齢化」とあるが、基本目標3には、「少子化」についての施策は含まれていないと思われる。 地域ケア会議の効果的な運営については、開催回数を指標とするのは適当ではないため、それ以外の指標を検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

3-1

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向1	地域福祉を進めるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	生活支援・介護予防サービス体制整備の推進	国分寺市、第1層生活支援コーディネーター及び地域の関係団体とサービス整備推進会議を開催し、生活支援・介護予防サービス体制整備の推進に向け協議を行います。また、各地域包括支援センターに配置した第2層生活支援コーディネーターが地域において活動できるように、協議体開催の支援等を行います。	第1層協議体の開催回数	4	4	4	C	第1層協議体としてサービス整備推進会議を計画どおり実施した。 協議体の設置数は目標を達成できていないが、第1層協議体で識見者に助言を求めながら、第2層生活支援コーディネーターと会議委員の顔の見える関係づくり等、体制整備の推進に努めた。地域の課題や現状を確認し、必要な体制整備について、他分野との連携も含めて検討する。	高齢福祉課
				3	4	4			
			第2層協議体の設置数	6	6	6			
				3	3	3			
②	地域ケア会議の効果的な運営	地域ケア会議の開催により、地域のネットワーク構築、多職種の連携による地域づくりを推進します。	地域ケア会議（回）	2	2	2	B	第8期からは、地域包括支援センターごとに小地域ケア会議を開催する形式に変更して継続実施した。それぞれの圏域の特性を反映した地域課題を検討できるよう、地域課題検討会議を重ねて、地域ケア会議へ報告している体制づくりに努めた。 令和5年度は、令和4年度地域ケア会議で課題として挙げた「情報の届け方」「支援者間ネットワークづくり」を意識しながら専門部会の運営を行った。また、医師会、歯科医師会、民生・児童委員、地域の介護支援事業所等が参加することで、多職種による連携体制の基盤づくりができた。 今後は各小地域ケア会議で挙げた課題や協議内容を地域ケア会議へあげる前に行う、地域課題選別会議について、取組方法の工夫・改善に進めていく。その上で、それぞれの会議体から上がった課題や強みについて地域ケア会議で共有・検討する流れを整え、各会議体の連動を引き続き目指していく。	高齢福祉課
				2	2	2			
			小地域ケア会議（回）	12	12	12			
				12	12	12			
			地域課題検討会議（回）	随時	随時	随時			
				随時	16	16			
			地域ケア個別支援会議（回）	120	120	120			
				105	81	103			
			地域ケア会議専門部会（回）	6	6	6			
				6	6	6			

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向1	地域福祉を進めるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
③	地域福祉推進協議会の開催	地域福祉計画に基づき「地域福祉推進協議会」を開催し、情報交換、交流を通じ、委員同士、団体間でのつながりにより、地域の支え合い、地域福祉の推進に取り組みます。	地域福祉推進協議会を2回開催し、つながり支え合う地域づくりを目指し、委員相互の円滑な情報交換や交流を進めた。委員は「活動情報・取組情報シート」による活動の振り返りを行い、グループワークではお互いに活動の魅力を発信して、地域福祉の推進に向けて、様々な分野の活動における取組の進展を図った。	地域共生推進課

施策評価票

3-2

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める	重点事業	
施策の方向2	市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課、協働コミュニティ課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	感染対策を取りながら継続して事業を実施していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	いずれの事業についても着実に実施できていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標以上に達成した。
達成状況評価に関する説明	介護支援ボランティアの登録者数は大幅に増加しており、ボランティアの育成等の取組を推進した。また、その他の事業についても、第8期を通して着実に実施できていることから「目標以上に達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

3-2

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向2	市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	市民活動などに関する情報提供・ネットワークづくり	こくぶんじ市民活動センターでは、市民活動に関する情報の収集及び提供を行います。また、市民活動団体に対する活動の相談やコーディネート、市民活動団体間の交流や市と市民活動団体との協働の促進のほか、市民活動団体の拠点として、活動の場及び設備の提供を行います。	アクティ・ココブンジ内に設置しているこくぶんじ市民活動センター（以下「センター」という。）を拠点として、市民活動団体に関する情報を取りまとめるとともに市民等に向けて発信している。あわせて、市が設置する市民活動に関するコーディネーターと連携しながら、市民活動、協働等に係る情報を収集し、各団体に情報提供を行っている。また、協働事業に関しては、継続して実施している公募型協働事業4件に加え、新たに採択された提案型協働事業2件の計6事業を協働事業として実施した。今後も、コーディネーターとの連携による行政側のニーズと市民活動団体側の活動内容のマッチング等を図りながら、市民活動団体の支援や協働の推進等に向けて、センターの機能を強化していく。	協働コミュニティ課
②	老人クラブの支援	地域活動や生きがい活動など様々な活動を通して、高齢者の健康で豊かな生活の実現を支援します。	老人クラブに対して、補助金を交付し、活動を継続的に支援した。老人クラブの運営には、自主財源の確保と組織率を高めることが必要のため、市報での情報提供や会員増強に向けた活動への支援等を行った。 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、4年ぶりにスポーツ大会（運動会）が実施される等、連合会及び単位クラブにおける事業が再開した。	高齢福祉課
③	介護支援ボランティアの育成	高齢者を介護保険施設等で従事していただく介護支援ボランティアとして育成し、健康づくりや社会貢献など生きがいを創出し、介護予防を実現します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために控えられていたボランティアの受入れは徐々に再開している。登録者数は令和4年度47人から令和5年度82人に増加した。今後も登録者と活動実績の増加に向けて取り組んでいく。	高齢福祉課
④	生活支援隊・介護予防応援隊の確保・育成	基礎研修・現任研修・フォローアップ研修を行い、介護予防・生活支援サービス事業の担い手や地域活動に取り組む人材の確保・育成を行います。	基礎研修と専門研修では、介護の必要性や個人情報など専門的知識の習得向上に向けて弁護士や大学教授などによる講義を行った。 また、登録者には地域活動等への関わりについて調査を行った。受講生は少ないが、参加者全員が積極的に講義に取組み、ワークでも講義での内容を自ら習得しようと発言が多く意欲的な参加者が多かった。	高齢福祉課

施策評価票

4-1

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向1	自己の充実に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	社会教育課、スポーツ振興課、公民館課、高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	地域での生きがいづくり・仲間づくりの事業については、公民館において様々な講座を開催し、高齢者がより良い生活を送る助けになっている。また、講座参加者が講座後も集い仲間づくりにつながっている。その他の事業も、感染対策を行いながら事業を実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	地域での生きがいづくり・仲間づくりの事業については、公民館において、既存のグループ活動の充実のために公開講座を実施した。このことで、新しい仲間との交流が生まれ、グループ活動の活性化につながった。その他にも、高齢者が健康で生きがいを持って生活できるような様々な事業を実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	地域での生きがいづくり・仲間づくりの事業については、公民館において、第8期を通じて様々な講座を開催した。このことは高齢者が健康で生きがいを持って生活していくことの一助になると考える。他の事業も必要に応じて感染症対策を取りながら継続して実施し、多様な機会を確保・維持できたことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 基本目標4は重点事業がなく、他の基本目標と比べて内容が薄い印象がある。次期計画では検討いただきたい。 施策の方向の「自己の充実」という言葉はあまり一般的ではないため、「充実した生活」などの言葉に変更してもよいのではないか。自己実現という観点から、仕事に関することについても触れるとよいのではないか。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

4-1

基本目標4	高齢者がいきいきと活動が続けていける地域づくりを進める
施策の方向1	自己の充実に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	生涯学習の推進	高齢者を含めた生涯学習施策の推進を図ります。	東京経済大学との共催の市民大学講座は対面方式で全8回開催され、延べ898人が参加した。また、特別科目聴講は16人が受講した。グループ・サークル情報は、令和5年度115団体が登録している。	社会教育課
②	体育施設使用料の減免	満60歳以上の方に対し、「市民室内プール」や「市民スポーツセンターおよび市民ひかりスポーツセンターの個人利用（バドミントン・卓球等）・フィットネスルームの個人利用」の施設使用料を「無料」にし、元気・健康な生活を過ごせるよう支援します。	満60歳以上の方や障害のある方を対象とした「オパール会員制度」を設け、市民室内プールや市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンターの個人利用について利用料を無料とし、スポーツに気軽に触れる機会を提供することで、高齢者の元気で健康な生活に寄与している。 なお、令和6年度より一般的な高齢者の定義が65歳以上であることや適切な受益者負担の観点から、オパール会員の対象年齢は「満65歳以上」に変更した。	スポーツ振興課
③	地域での生きがいづくり・仲間づくり	様々な公民館主催事業の開催や、グループでの学習・活動・交流の場の提供を通じて、高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを支援します。	【本多公民館】健康講座「はじめての簡単ヨガ」では、家庭でも簡単にできる体力づくりについて学び、日常生活を心身ともに健康に過ごし、地域で活発に活動できるようになることをについて理解を深めた。スマートフォン講座（全2回）では、参加者を4グループに分け、グループ内でコミュニケーションを取りながら学び、「デジタルデバйд」を解消する一歩になった。 【恋ヶ窪公民館】健康講座「身体を見つめ直し健康寿命を延ばす」では、参加者同士で確認をしあいながら、自らの身体を知り健康に役立つ知識や基礎になる体操、筋肉の使い方を学んだ。スマートフォン講座は、写真の共有やSNS、アプリの使い方など、初心者から一歩すすんだ内容で実施。今後も同様の講座の開催を望む声が多く聞かれた。 【光公民館】健康講座「夜ヨガでリラックス」では、仕事終わりに講座に参加できるように夜に開催した。季節の養生を学びながら、ヨガでリラックスできる場となった。 【もとまち公民館】グループ活動公開事業では、公民館で活動しているグループが指導者となり、初心者向けに講座を開催した。何か始めようとしている方が同じ趣味や嗜好を持った仲間を作るきっかけになったり、活動グループにとっては加入者を増やし活性化や新たな地域交流を図る機会を作ることができた。 【並木公民館】スマートフォンの基礎的な操作方法やLINEなどの便利なアプリの使い方などを学ぶスマートフォン講座入門編（全2回）を実施し、情報収集力や生活の利便性の向上につなげた。 グループ活動公開事業では、公民館で活動しているグループの定例活動を公開した。何か始めようとしている方が同じ趣味や嗜好を持った仲間を作るきっかけになったり、活動グループにとっては加入者を増やし活性化や新たな地域交流を図る機会を作ることができた。	公民館課

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	地域介護予防活動 支援事業 【再掲】	地域住民主体で行う介護予防活動の支援などを行います。	集いの場については、グループ数は令和4年度は32グループで、令和5年度は33グループと自体は横ばいだが、参加人数は令和4年度381人から令和5年度393人と増えている。	高齢福祉課
⑤	地域生きがい 交流事業 【再掲】	生きがいを持って社会参加を続けられるように、生きがい創作、文化活動、介護予防、健康増進、交流、レクリエーションに関する事業を実施します。	市内6か所の生きがいセンターで、1年を3期に分けて23講座を実施し、延べ参加者数は令和4年度7,263人から令和5年度8,158人に増加した。第3期の最後には全センター合同の発表・展示・交流会を行った。	高齢福祉課

施策評価票

4-2

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向2	高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	地域共生推進課、社会教育課、経済課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	いずれの事業も適切に行われたことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	いずれの事業も適切に行われたことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	いずれの事業についても、第8期を通して着実に実施できていることから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 人材バンクについては、人材バンクの登録者が子どもたちの学習支援などの社会教育分野で活躍しやすいような体制づくりを検討いただきたい。 就労・就業相談・情報提供については、基本目標に照らし合わせると、市内あるいは近隣で働くことが念頭にあってよいのではないか。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

4-2

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める
施策の方向2	高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	シルバー人材センターの支援	シルバー人材センターに対する財政的支援を行い、事業の促進を図ります。	高齢者の就労機会の提供・確保に重要な役割を果たしているシルバー人材センターへの財政的支援を継続するとともに、シルバー人材センターへの業務委託の推進に努めてきた。また、シルバー人材センターの運営費への補助金交付の他、作業所の提供、就業相談及び事業活動周知のための広報活動への支援を行った。	地域共生推進課
②	人材バンク	個人又は団体で気軽に学習に取り組めるように、様々な分野の講師の登録情報を公開します。	登録者数は令和4年度32件から令和5年度35件に増加した。	社会教育課
③	就労・就業相談・情報提供	高齢者の雇用を支援するために、関係機関が実施する高齢者向け再就職セミナーや就労に必要な技能・知識を得るための就職支援講習など、高齢者の多様な働き方に応じた就労支援情報を提供します。	就労支援機関が開催するセミナー情報や就職面接会のチラシ等を庁内で配架し、かつ市報やHPで情報提供している。また、国分寺市就労支援ガイドを発行し、高齢者の就労相談窓口を紹介している。	経済課

施策評価票

4-3

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向3	様々な世代との交流に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	公民館課、子ども子育て支援課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	いずれの事業でも高齢者とそれ以外の世代との交流が図られたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	いずれの事業でも、高齢者とそれ以外の世代との交流が図られたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	いずれの事業についても、第8期を通して高齢者とそれ以外の世代との交流が図られており、児童館行事の高齢者ボランティアも増加し、交流の機会の確保や充実の推進がなされたことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 基本目標に対して重点事業が入っていないものがあるため、次期計画では検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

4-3

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める
施策の方向3	様々な世代との交流に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	異世代交流事業	公民館が中心になり、地域の方々（高齢者も含む）が指導者になり、世代を越えて交流・体験できる学びの場をつくれます。	【本多公民館】子どもと大人の交流・体験ができる場として、7種目の事業を開催し、参加者及び指導者が共に学び合いながら、豊かな体験ができる活動を行った。参加者は延べ680人だった。	公民館課
②	高齢者ボランティアによる異世代交流	児童館行事において、昔遊びや読み聞かせ等の企画に高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、子どもと高齢者の自然な交流を図ります。	感染症対策を行いながら、読み聞かせ、けん玉、おもちゃ病院、マジックショーなど、様々な行事を通して利用者との交流ができた。ボランティアの高齢者も意欲的に参加し、児童館の高齢者ボランティアの行事回数は、令和4年度の128回から令和5年度の170回に増加した。	子ども子育て支援課

施策評価票

5-1

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する	重点事業	①ケアマネジャーへの支援
施策の方向1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	ケアマネジャーへの支援については、目標値を下回ったものの工夫をしながら関係構築を行っている。その他の事業についても、オンラインを活用するなどして実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	ケアマネジャーへの支援については、地域包括支援センターが丁寧に助言や来所時に声掛けを行うなど、引き続き関係構築のため工夫している。その他の事業についても滞りなく実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 ケアマネジャーへの支援については、相談件数だけで成果が上がったかを見るのは難しい。ケアマネジャーのスキルが向上することで相談件数が減少することや、地域包括支援センターのみではなく他機関と連携してケアマネジャーの支援が行われたことも考えられる。 また、ケアマネジャーのみならず介護に関わっている全ての人々を支援していくことが必要である。	上記の評価と相違なし。 ケアマネジャーへの支援については、相談件数だけで成果が上がったかを見るのは難しい。 また、ケアマネジャーのみならず介護に関わっている全ての人々を支援していくことが必要である。特にケアマネジャーへの支援を行う地域包括支援センターの支援を行っていくことは大切である。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	目標以上に達成した。
達成状況評価に関する説明	ケアマネジャーへの支援については、令和4年度及び令和5年度は目標値を上回った。また、第8期を通じて地域包括支援センターが様々な工夫を行いながらケアマネジャーとの関係構築を図っていることは評価できる。他の事業についても、適切に実施していることから「目標以上に達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 市内で働くケアマネジャーが働き続けられるよう支援していくことや、居宅介護支援事業所の閉鎖を防ぐための支援が必要である。また、ケアマネジャーへの支援を行う地域包括支援センターへの支援を行っていくことも重要である。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 この施策の方向の取組事業は、次期計画では全て大切な事業になってくると考える。特に地域包括支援センターへの支援については記載を検討いただきたい。 また、基本目標5にケアマネジャーや地域包括支援センターの職員などの人材の確保及び介護事業所が安定して事業を継続することができる取組についても記載を検討いただきたい。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	---

事業評価票

5-1

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	ケアマネジャーへの支援	ケアマネジメントの向上、ケアマネジャーが抱える複合的な課題等への対応について、地域包括支援センターが助言や個別支援を実施します。	地域包括支援センターにおけるケアマネジャー相談対応件数(件)	2,800 2,210	2,900 3,128	3,000 3,146	A	複雑的な課題を抱える世帯の増加に伴い、ケアマネジャーからの相談は増えている。 ケアマネジャーを支援する役割をもつ地域包括支援センターもケアマネジャーへの助言や同行等に丁寧に取り組むほか、来所時の声掛けで意識的に関わるなど関係構築のため工夫している。	高齢福祉課

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	教育・研修の充実	事業所、ケアマネジャー、介護職員等への必要な情報提供や研修等を行います。	ケアマネジャー向けの研修はオンラインを活用したハイブリッド形式で新任研修2回、現任研修を1回開催した。対面式の現任研修も4回開催した。	高齢福祉課
③	市内介護従事者の就労支援の検討	市内介護保険事業所職員が安心して就労できる環境を整える方策を検討します。	市内事業者との情報共有ツールである「ケア倶楽部」の利用を令和3年度から開始し、研修のお知らせや東京都の施策等、積極的に情報提供に努めた。	高齢福祉課
④	生活支援隊・介護予防応援隊の確保・育成【再掲】	基礎研修・現任研修・フォローアップ研修を行い、介護予防・生活支援サービス事業の担い手や地域活動に取り組む人材の確保・育成を行います。	基礎研修と専門研修を行い、登録者には地域活動等への関わりについて調査を行った。受講生は少ないが、意欲的な参加者が多かった。	高齢福祉課
⑤	事務負担軽減に向けた支援の検討	介護分野の文書に係る事務負担軽減に向けて国が示す簡素化・標準化の方針に基づき、介護事業所の事務負担軽減に向け、対応します。	介護保険システムの標準化について、標準準拠システムの構築・検討を行った。また、指定申請等の行政手続オンライン化について導入準備を進めた。	高齢福祉課
⑥	資格取得に向けた支援	介護未経験者研修費用補助金交付事業を実施し、介護未経験者等が、資格取得によって市内事業所で安心して継続的に働けるよう、介護人材確保施策を推進します。	介護職員初任者研修を修了し、市内事業所等に就業した方に対して、研修費用の補助を実施し、対象者3人に交付した。	高齢福祉課
⑦	国分寺市介護保険事業者各種連絡会開催支援	市民に向けた質の高い高齢者介護サービスが提供されることを図るため、ケアマネジャー連絡会、サービス提供責任者連絡会、通所事業者連絡会、訪問看護連絡会の開催支援を行います。	国分寺市介護保険事業者各種連絡会のそれぞれに担当職員を配置し、定期的開催を支援した。	高齢福祉課

施策評価票

5-2

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する	重点事業	①介護・福祉の魅力発信
施策の方向2	介護職の魅力を伝えるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課、学校指導課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	おおむね目標どおり進行している。
進捗状況評価に関する説明	介護・福祉の魅力発信については、市内のイベントにおける福祉の仕事に関するPRの実施を検討した。職場体験機会の提供については感染症拡大防止の観点から中止となったが、受入れ先の募集を行い応募はあった。これらを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	介護・福祉の魅力発信については、市内のイベントにおける福祉の仕事に関するPRの実施を検討した。職場体験機会の提供については感染症拡大防止の観点から中止となった。これらを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	上記の評価と相違なし。

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	おおむね達成した。
達成状況評価に関する説明	介護・福祉の魅力発信については、第8期を通じて継続して検討を行った。職場体験機会の提供については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度までは中止となったが、令和5年度は多くの事業所で職場体験を実施することができた。以上のことから「おおむね達成した。」と評価する。
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。

次期計画に向けた方向性	継続して実施する。 介護職に関心のある子どもたちがボランティアのような形で介護事業所を訪問することも、介護職を身近に感じるきっかけになるのではないかと。国分寺市で介護分野で働くことを後押しするような施策があると良い。 次期計画では事業の効果を図るため、取組事業についても目標数値を設定するなど、検討いただきたい。
-------------	--

事業評価票

5-2

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向2	介護職の魅力を伝えるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	介護・福祉の 魅力発信	様々な手法を通して、幅広い世代に 介護・福祉の仕事の魅力を発信しま す。	介護・福祉の 魅力発信	構築	構築	実施	B	市内でのイベントにおいて、市民に対して福祉の仕 事に関するPRの実施を検討している。また、都の実 施する介護・福祉の仕事のPR事業の周知に協力 し、チラシ等の配架を実施した。	高齢福祉課
				構築	構築	実施			

5-2

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向2	介護職の魅力を伝えるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	職場体験機会の提供	市内の公立中学生を対象に、介護職の職場体験を実施します。	市内の介護職に係る事業所に、職場体験の受入れ先を募集し、 12事業者から応募があった。そのうち10事業所で職場体験を実施 した。そのほかにも4事業所で職場体験を実施した。	高齢福祉課 学校指導課